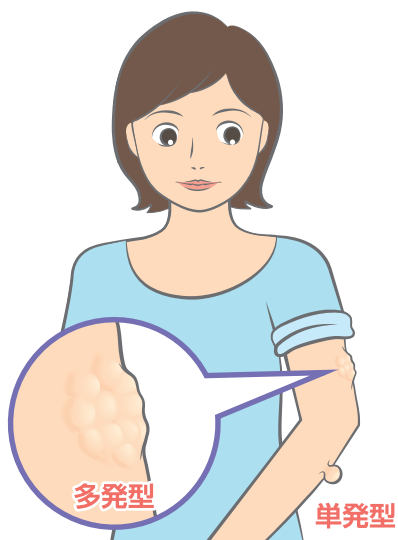


できものが大きくなってきたのが気になっています
「表在性脂肪腫性母斑」かもしれません
立川皮膚科クリニック
www.tachikawa-derma.com

表在性脂肪腫性母斑



皮膚にやわらかい淡黄色で直径数cmまでの隆起した、できもののような結節が生じることがあります。この症状については、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医・立川皮膚科クリニックの伊東秀記院長に聞きました。

「どんな病気ですか？」
「表在性脂肪腫性母斑とは、皮膚の真皮内にある脂肪組織が異所性に繁殖して母斑をつくる疾患です。単発型と多発型があり、単発型は大人に多く発症して、有茎性の小結節が体のどの部位にも生じます。多発型はやわらかい小さな結節が、帯状あるいは島状に集まっているのが特徴で、背や臀部、大腿部などに生じることが多く、よく10歳以下の子供に発症することがあります。瘡みなどの自覚症状はありません」

「原因は？」
「発症の原因はいまだ不明ですが、真皮血管周囲の未分化な間葉系細胞から発生した、脂肪芽細胞が関与しているのではないかとわかっています。遺伝性はありません」

「治療法は？」
「自然に消滅することはない、治療をしないと結節が徐々に拡大し周辺組織を圧迫するケースもあります。詳細や気になることは、皮膚科の医師に相談してください」

院長：伊東秀記
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、
東京慈恵会医科大学医学部卒業

立川皮膚科クリニック
立川駅南口メディカルモール3階

サンドラッグ 立川駅 新福
グランデュオ
多摩モノレール 立川南駅

休診日：日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30~ 13:30	○	○	○	○	12:30まで 受け付け	○
15:00~ 19:30	○	○	○	○	18:30まで 受け付け	17:30まで 受け付け

問い合わせ
☎042-843-1377
JR「立川」駅南口徒歩2分

2018年12月8日付 「リビング多摩」に掲載されました